

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2006-15757 (P2006-15757A)
 【公開日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-003
 【出願番号】特願 2005-243177 (P2005-243177)
 【国際特許分類】

B 4 2 D 5/04 (2006.01)
B 4 2 D 15/00 (2006.01)
G 0 6 F 3/042 (2006.01)
G 0 6 F 3/041 (2006.01)
G 0 6 F 15/02 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D	5/04	L
B 4 2 D	5/04	H
B 4 2 D	15/00	3 0 1 E
G 0 6 F	3/03	3 3 0 J
G 0 6 F	3/03	3 8 0 Q
G 0 6 F	15/02	3 1 0 E
G 0 6 F	15/02	3 3 5 E
G 0 6 F	15/02	3 5 5 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 4 月 3 日 (2007.4.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

少なくとも 1 つのページを備えた紙ベースのカレンダーと、前記カレンダーになされた手書き入力を電子的に記憶する装置とを備えたシステムであって、

前記カレンダーは、前記カレンダー内の位置が符号化され手書き入力を電子的に記録可能とする位置符号化パターンを備えており、

前記ページは、それぞれ所定の時間を示す複数の指標を備えており、さらに、前記複数の指標にそれぞれ対応した位置に設けられ手書き入力を受け付ける複数のカレンダーエリアを、前記位置符号化パターン上に備えており、

前記装置は、前記位置符号化パターンを用いて検出される手書き入力の位置に基づいて、前記複数のカレンダーエリアのうち該手書き入力になされたカレンダーエリアに対応する前記指標が示す時間と該手書き入力を電子的に関連付けする手段を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記システムは、デジタルペンを備え、

前記デジタルペンは、前記手書き入力を電子的に記録するために画像を取得するセンサと、前記紙ベースのカレンダーに書き込みをするためのペン先とを備えることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記デジタルペンが、前記画像を処理するためのプロセッサをさらに備え、

前記プロセッサが、前記画像のそれぞれにおける位置符号化パターンを検出し、各画像における前記位置符号化パターンを絶対位置の座標に変換する手段を含むことを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記装置は、デジタルペン、コンピュータ、ネットワークサーバーのうちの少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記装置は、デジタルカレンダーに前記手書き入力を記憶する手段を備え、

前記手書き入力の記憶が、前記手書き入力になされた前記カレンダーエリアに対応する前記指標と関連付けられて行なわれることを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 つに記載のシステム。

【請求項 6】

タイムスタンプを各手書き入力に関連付ける手段を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 つに記載のシステム。

【請求項 7】

前記カレンダーは、手書き入力に関して実行されるべきコマンドを定義する機能フィールドを備えており、

前記機能フィールドは、第 2 の位置符号化パターンを備えており、

前記装置は、前記第 2 の位置符号化パターンの検出に応じて、前記手書き入力に関するコマンドを実行する手段を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 つに記載のシステム。

【請求項 8】

前記電子的に記憶された手書き入力及び前記指標が示す時間に基づいて、到来する予定をユーザに通知する手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 つに記載のシステム。

【請求項 9】

少なくとも 1 つのページを備えた紙ベースのカレンダーになされる手書き入力を電子的に処理する方法であって、

前記カレンダーは、前記カレンダー内の位置が符号化され手書き入力を電子的に記録可能とする位置符号化パターンを備えており、

前記ページは、それぞれ所定の時間を示す複数の指標を備えており、さらに、前記複数の指標にそれぞれ対応した位置に設けられ手書き入力を受け付ける複数のカレンダーエリアを、前記位置符号化パターン上に備えており、

前記方法は、

前記複数のカレンダーエリアのいずれかになされた手書き入力の位置を、前記位置符号化パターンに基づいて検出し、

前記検出した手書き入力の位置に基づいて、該手書き入力を記憶し、

前記検出した手書き入力の位置に基づいて、該手書き入力になされたカレンダーエリアに対応する前記指標が示す時間と該手書き入力を関連付けすることを含むことを特徴とする方法。

【請求項 10】

前記手書き入力の記憶が、前記手書き入力になされた位置符号化パターンの画像の取得と、前記位置符号化パターンの画像に基づく絶対位置の座標の検出とを含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

少なくとも 1 つのページを備えた紙ベースのカレンダーであって、

前記カレンダーは、前記カレンダー内の位置が符号化され手書き入力を電子的に記録可能とする位置符号化パターンを備えており、

前記ページは、それぞれ所定の時間を示す複数の指標を備えており、さらに、前記複数

の指標にそれぞれ対応した位置に設けられ手書き入力を受け付ける複数のカレンダーエリアを、前記位置符号化パターン上に備えており、

前記複数のカレンダーエリアのいずれかに手書き入力となされると、該手書き入力の位置が前記位置符号化パターンに基づいて検出され、この検出された位置に基づいて、該手書き入力となされたカレンダーエリアに対応する前記指標が示す時間と該手書き入力が電子的に関連付け可能となることを特徴とするカレンダー。

【請求項 1 2】

前記位置符号化パターンが、前記複数のカレンダーエリアに渡って広がり、絶対位置の座標を符号化したものである第 1 の絶対位置符号化パターンであって、

あるカレンダーエリアへの手書き入力に従って前記第 1 の絶対位置符号化パターンが検出されることにより、該手書き入力が座標列の形でデジタルに記録可能となると共に、前記あるカレンダーエリアに対応する前記指標が示す時間が、前記座標列における座標に基づいて決定可能となることを特徴とする請求項 1 1 に記載のカレンダー。

【請求項 1 3】

前記第 1 の絶対位置符号化パターンは、より大きな範囲における位置を符号化する仮想絶対位置符号化パターンの一部である第 1 の部分に相当し、

前記第 1 の部分は、前記仮想絶対位置符号化パターンが符号化することができる点が存在する仮想表面上における第 1 の座標エリア内の点の座標を符号化するものであり、

前記第 1 の座標エリアが、カレンダー情報に専用のエリアであることを特徴とする請求項 1 2 に記載のカレンダー。

【請求項 1 4】

前記位置符号化パターンと前記指標が、互いに重なり合っていることを特徴とする請求項 1 1 に記載のカレンダー。

【請求項 1 5】

少なくとも 1 つのカレンダーエリアが、このカレンダーエリアになされた手書き入力に関して実行されるべきコマンドを定義する機能フィールドに関連付けられていることを特徴とする請求項 1 1 ~ 1 4 の何れか 1 つに記載のカレンダー。

【請求項 1 6】

前記機能フィールドが、第 2 の絶対位置符号化パターンを備えることを特徴とする請求項 1 5 に記載のカレンダー。

【請求項 1 7】

前記第 2 の絶対位置符号化パターンは、より大きな範囲における位置を符号化する仮想絶対位置符号化パターンの一部である第 2 の部分に相当し、

前記第 2 の部分は、前記仮想絶対位置符号化パターンが符号化することができる点が存在する仮想表面上における第 2 の座標エリア内の点の座標を符号化するものであり、

前記第 2 の座標エリアが、コマンドに専用のエリアであることを特徴とする請求項 1 6 に記載のカレンダー。

【請求項 1 8】

前記カレンダーは、時間を特定しないエリアであって、手書き入力を受け入れるよう適合された少なくとも 1 つの入力エリアをさらに備えており、

前記入力エリアが、第 3 の絶対位置符号化パターンを備えることを特徴とする請求項 1 1 ~ 1 4 の何れか 1 つに記載のカレンダー。

【請求項 1 9】

前記第 3 の絶対位置符号化パターンは、より大きな範囲における位置を符号化する仮想絶対位置符号化パターンの一部である第 3 の部分に相当し、

前記第 3 の部分は、前記仮想絶対位置符号化パターンが符号化することができる点が存在する仮想表面上における第 3 の座標エリア内の点の座標を符号化することであることを特徴とする請求項 1 8 に記載のカレンダー。

【請求項 2 0】

前記入力エリアが、該入力エリアになされた手書き入力に関して実行されるべきコマン

ドを定義する機能フィールドに関連付けられていることを特徴とする請求項 18 又は 19 に記載のカレンダー。

【請求項 21】

前記コマンドが、前記手書き入力の保存、前記手書き入力を含むメールの送信、前記手書き入力を含む SMS の送信、及び前記手書き入力を含むファックスの送信のいずれか 1 つであることを特徴とする請求項 20 に記載のカレンダー。

【請求項 22】

前記位置符号化パターンが、第 1 の所定数のシンボルを含む第 1 のシンボル並びに基づいており、

前記第 1 のシンボル並びは、前記第 1 のシンボル並びから第 2 の所定数のシンボルを取ると前記第 1 のシンボル並びにおけるこれらのシンボルの位置が確定されるという特性を備え、前記ページ上の第 1 の次元における位置を決定するために用いられ、

さらに、前記位置符号化パターンが、前記第 1 のシンボル並びと同じ特性を有する第 2 のシンボル並びに基づいており、

前記第 2 のシンボル並びは、前記ページ上の第 2 の次元における位置を決定するために用いられることを特徴とする請求項 11 ~ 14 の何れか 1 つに記載のカレンダー。

【請求項 23】

前記位置符号化パターンは、複数のシンボルを備え、前記複数のシンボルの各々は、ラスタ線之交差によって定義されるラスタ点からずれていることを特徴とする請求項 11 ~ 14 の何れか 1 つに記載のカレンダー。